

教育福祉常任委員会 視察研修

当委員会では、平成28年9月に友好交流都市協定を締結した、佐賀県みやき町を5月20日に訪問させていただき、末安町長の表敬訪問並びに同町の子ども・子育て支援施設について視察研修してまいりました。

みやき町中原庁舎においての表敬訪問では、末安町長、町議会から園田議長、岡副議長、松信総務文教常任委員長、田中民生福祉常任委員長の手厚い歓迎を受け、二町が現在進めている新たな施策等について懇談させていただきました。

みやき町では、平成24年に「子育てするならみやき町」というスローガンを掲げ、様々な施策を進めております。

最初に見学させていただいた「とっこい子育て広場」は、子どもも大人もゆったり、のんびり自分のペースで過ごせる場所とすることを目的に平成25年4月に開設され、主に就園前の子どもと保護者が利用しており、利用料は無料でカフェも併設されております。また、平成29年6月から広場を運

営しているNPO法人「とっこいクラブ」により0〜3歳児までの一時預かり事業も開始され、視察当日も5組程度の親子がゆったり過ごされている様子を見学することができました。

次に、今年4月から入居が開始されたPFI方式による戸建賃貸住宅を視察いたしました。この戸建住宅は、空き家・空き地対策と定住促進を目的とし、子育て世代を意識した設計となっており、家賃も6万1千円と周辺相場より2万円程度安く設定されており、PFI方式による戸建住宅にも、子育て世帯支援施策として可能性を感じました。

その他、多世代が集いお茶を飲みながら語り合い学び合う場を目指し運営されている「ティアラ」、四季彩の丘みやきに隣接した、妊娠中や育児中の母親を24時間体制でサポートする「みやき町産前産後サポートステーション」、新たに大型遊具を設置し、町内外を問わず18歳未満の方々が利用できるみやき町児童館「こども未来センター」、災害時の非常用トレジャーハウス等を視察させていただきました。

最後に、みやき町庁舎において末安町長から、独居高齢者をサ

ポートする「MAGOボタン」事業についての説明を受けました。この事業は、「MAGOボタン」という独自の端末を、町内でコールセンター事業を行う【みやきまち】が運営するコールセンターに無線でつなげ、高齢者からの要望を「地域生活支援サポーター」に連絡する体制を構築し、高齢者の日常の困りごとに対応する事業であります。今後、運用開始に向け町内の区長さんや民生委員さんに使用していただき、その後、実際に高齢者の方々に配布し運用していくとのことでありました。

みやき町では、子育て世代の移住が増加したことによる「待機児童問題」等、予期していなかった問題も発生しているとのことであり、今後の対策が必要であるとの話もお聞かせいただきました。

当町においても、移住・定住施策による人口の社会増に向けた事業を継続し、並行して新たに発生する諸問題を見定め、各事業を進めていかなければならないと感じました。



PFI戸建て住宅の視察状況



みやき町議会議場

◎広報編集委員会

委員長	岩崎 博
副委員長	飯田 進
委員	須藤 信吉
委員	相良 昌宏
委員	鈴木 英明